

「配管システム等研究助成」申込書の記入要領

以下に、本財団所定の「配管システム等研究助成」申込書の記入要領を示す。3 ページ以内に日本語で簡潔に記入すること。

1. 研究題目

本研究の内容に沿った名称とする。

2. 研究目的

本研究の全体構想として、何が達成できればよいか又は狙いは何か等具体的に記述する。

3. 研究対象とする学問分野

本研究に該当する分野・キーワードを記載する（複数可）。

（弾塑性力学、流体工学、伝熱工学、表面化学、センシングデバイス、溶接工学、機械学習等）

4. 研究の学術的背景

本研究に関連するこれまでの知見、研究動向並びに未知、問題・課題は何で、本研究において解明・解決しようとする点は何かを記述する。

5. 研究の先進性・重要性、方法、発展性

本研究の新規性・進歩性、重要性・意義は何で、どのようなアプローチ・手法を用いるのかを記述する。また、本研究後の発展性（配管に関連しなくてもよく、応用、他分野との融合、波及効果等）の見通しがあれば記述する。

6. 研究の遂行能力及び環境負荷の適切性

本研究を進めるにあたり、達成可能な設備が用意できるか、人員・協力者に不足はないか、環境に悪影響をもたらさないよう配慮されているかを記述する。

7. その他

特記事項があれば記述する。


（次項に記入例を示す。）

公益財団法人 イハラサイエンス中野記念財団 宛

2026 年度「配管システム等研究助成」申込書

記入例

申込日付（西暦）	●●●●年 ●月 ●●日
フリガナ	●●●● ●●●●
研究代表者氏名	●● ●●
研究機関名	●●大学大学院 ●●●研究科●●●専攻
職 名	准教授
住 所	〒000-0000 ●●県●●市●●●●
電話番号	(0000) 00 - 0000
E-mail	aaa@bbb.ac.jp

1. 研究題目	オーステナイト系ステンレス鋼の表面改質
2. 研究目的	オーステナイト系ステンレス鋼の耐腐食性能を維持したまま加工硬化の表面改質を目指す。
3. 研究対象とする学問分野	金属材料，塑性加工。
4. 研究の学術的背景	オーステナイト系ステンレス鋼の改質については，既存技術である浸炭，窒化又は塑性加工による加工硬化などがあるが，耐腐食性能については，ほとんどの処理で性能劣化しており，材料の使用範囲狭めている。現状では有効な処理方法は少なく…
5. 研究の先進性・重要性、方法、発展性	<p>オーステナイト系ステンレス鋼の表面改質を行うことは，一般鉄鋼材の肌焼き処理と同等の効果が期待できる。こういう中，耐腐食性能の劣化が生じなければ，機械構成部品としての用途が拡大し，既存製品の性能向上につながる。…</p> <p>本表面改質の適用例として，Fig. 1 に示すように流体に直接接するバルブやメカニカル継手がある。流体の種類により耐腐食性能を要求されることが多いためである。さらには，同時に耐摩耗性が高まることによる耐久性能の向上やコンタミナントの原因となるパーティクル発生低減，部材の軽量化にも貢献できる。…その他の耐腐食性能を要求される機械要素部品にも展開でき，…</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p style="text-align: center;">Fig. 1 バルブ，メカニカル継手の代表例</p>
6. 研究の遂行能力及び環境負荷の適切性	本研究の遂行にあたり，試験設備は，…
7. その他	特になし。